

改訂日：
2021/04/23

Spec ID：
900000052196

前回改訂日：2019/12/18
初回作成日：2015/03/25

1. 製品名及び会社情報

製品名称：食品用接着剤 F-3

供給者の会社名称、住所及び電話番号

供給者情報詳細

供給者：株式会社日阪製作所

担当部署：熱交換器事業本部 品質保証室

住所：大阪府東大阪市東鴻池町2丁目1番48号

電話：072-966-9606

FAX：072-966-9618

緊急連絡先電話：072-966-9606

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途：一般工業用

2. 危険有害性の要約

化学品の GHS 分類

爆発物	： 分類できない
可燃性ガス	： 区分に該当しない
エアゾール	： 区分に該当しない
酸化性ガス	： 区分に該当しない
高圧ガス	： 区分に該当しない
引火性液体	： 区分に該当しない
可燃性固体	： 区分に該当しない
自己反応性化学品	： 分類できない
自然発火性液体	： 区分に該当しない
自然発火性固体	： 区分に該当しない
自己発熱性化学品	： 分類できない

改訂日：
2021/04/23Spec ID：
900000052196前回改訂日：2019/12/18
初回作成日：2015/03/25

水反応可燃性化学品	： 区分に該当しない
酸化性液体	： 分類できない
酸化性固体	： 区分に該当しない
有機過酸化物	： 分類できない
金属腐食性物質	： 分類できない
鈍性化爆発物	： 分類できない
急性毒性（経口）	： 分類できない
急性毒性（経皮）	： 分類できない
急性毒性（吸入－ガス）	： 区分に該当しない
急性毒性（吸入－蒸気）	： 分類できない
急性毒性（吸入－粉じん及びミスト）	： 分類できない
皮膚腐食性／刺激性	： 分類できない
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	： 分類できない
呼吸器感作性	： 分類できない
皮膚感作性	： 分類できない
生殖細胞変異原性	： 分類できない
発がん性	： 分類できない
生殖毒性	： 分類できない
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	： 分類できない
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	： 分類できない
誤えん有害性	： 分類できない
水生環境有害性 短期（急性）	： 分類できない

改訂日：
2021/04/23Spec ID：
900000052196前回改訂日：2019/12/18
初回作成日：2015/03/25

水生環境有害性 長期（慢性）： 分類できない

オゾン層への有害性： 分類できない

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル： 該当しない

注意喚起語： 該当しない

危険有害性情報： 該当しない

注意書き： 安全対策：
該当しない

応急措置：
該当しない

保管：
該当しない

廃棄：
該当しない

GHS 分類に該当しない他の危険有害性

重要な徴候及び想定される非常事態の概要： 加熱時に生ずる蒸気・ヒュームは、気道を刺激することがある。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別： 混合物

成分名称	CAS番号	濃度(%)	化審法番号	安衛法番号
エチレン-酢酸ビニル-バーサチック酸ビニル共重合体	非開示	52-56	既存	公表
水	7732-18-5	44-48	対象外	対象外
乳化剤	非開示	非開示	既存	公表
鉱油	非開示	>=0.1 - <0.2	非開示	非開示

4. 応急措置

吸入した場合： 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
呼吸が困難な時には、酸素吸入を行う。
呼吸が停止した場合には、人工呼吸を施す。
鼻、口、喉を水でゆすぐ。

改訂日：
2021/04/23

Spec ID：
900000052196

前回改訂日：2019/12/18
初回作成日：2015/03/25

- 体を毛布などで覆い、保温する。
直ちに医師の診察／手当てを受けること。
もし嘔吐が起こったら、胃からの嘔吐物が肺に入らないよう頭部を下げる。
- 皮膚に付着した場合： 多量の水で洗うこと。
直ちに汚染された服と靴を取り除く／脱ぐ。
皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診察／手当てを受けること。
- 眼に入った場合： 眼を擦ってはならない。
できるだけ早く水で洗い始め、数分間注意深く洗う。
コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
直ちに医師の診察／手当てを受けること。
まぶたを開いた状態に保つ。
- 飲み込んだ場合： 口をすすぐこと。
空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
体を毛布などで覆い、保温する。
直ちに医師の診察／手当てを受けること。
もし嘔吐が起こったら、胃からの嘔吐物が肺に入らないよう頭部を下げる。
呼吸が困難な時には、酸素吸入を行う。
呼吸が停止した場合には、人工呼吸を施す。
- 応急措置をする者の保護： 救助の際は保護具を着用する（「8. ばく露防止及び保護措置」を参照）。

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤： 粉末消火剤
泡消火剤
二酸化炭素
乾燥砂
- 使ってはならない消火剤： 棒状水
- 特有の危険有害性： 加熱されると、製品が入ったボンベ／容器が突然爆発したり、飛散するおそれがある。
混触危険物質（「10. 安定性及び反応性」参照）に留意して、適切な冷却手段にて容器を冷却する。
燃焼ガスおよび／または分解ガスには、刺激性、腐食性および／または毒性のガスが含まれるおそれがある。
火災の際は有害なガス（「10. 安定性及び反応性」参照）が発生し、めまいや窒息や健康被害を引き起こすおそれがある。

改訂日：
2021/04/23

Spec ID：
900000052196

前回改訂日：2019/12/18
初回作成日：2015/03/25

- 特有の消火方法
- ： 危険でなければ漏れを止める。
火災がとめられない場合は、火災の拡大・類焼を防止するために噴霧散水により冷却しながら燃焼させたままにする。
ボンベ/容器の破裂等の危険が推定される温度を超えそうな場合は、危険な温度に到達する前に、直ちに退避する。
風上から作業する。
安全な場所から消火する。
関係者以外の立ち入りを禁止する。
大規模火災で大量にある場合：区域より退避させ、十分に離れた距離から消火すること。
周辺の他の未燃可燃物の防護：可能かつ安全ならば、ボンベ/容器を移動させるか、散水などで冷却する。
外部火災からの製品防護：可能かつ必要がある場合は、製品の入ったボンベ/容器を安全な場所に移動させ、ボンベ/容器または周辺設備を水等で冷却する。
消火剤で表面を覆い窒息消火する。
消火後も大量の水を用いて十分に容器を冷却する。
- 消火を行う者の保護
- ： 各国、地域で規定された標準の全身保護衣および空気式呼吸器(SCBA)を着用する。
防護面、ヘルメット、手袋を含む耐炎性防火服を着用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護
具及び緊急時措置
- ： 人体に対する注意事項
作業時に使用する個人用保護具については「8. ばく露防止及び保護措置」を参照。
適切な保護具（「8. ばく露防止及び保護措置」参照）を着用して、飛沫等の皮膚への付着や、ミストまたは蒸気の吸入をしないようにする。
緊急処置
風下の人を退避させ、風上から作業する。
関係者以外の立ち入りを禁止する。
水路では安全が確認されるまで航行を遮断する。
周辺環境に、影響（健康被害を含む）を及ぼすおそれがある場合は、周辺の居住者に警告する。
付近の着火源となるものを、直ちに排除く。
大きな安全地帯を設定する。
二次災害の防止策
全ての着火源(熱/火花/裸火/高温表面/静電気放電、等)を取り除く。
適切な消火剤を準備する（「5. 火災時の措置」を参照）。
排水溝、下水溝、地下室、くぼ地あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。
- 環境に対する注意事項
- ： 環境への放出を避けること。
悪臭または刺激臭が強いので、周辺の住民に漏出したことの通報をするなどの、適切な措置を行う。

改訂日：
2021/04/23

Spec ID：
900000052196

前回改訂日：2019/12/18
初回作成日：2015/03/25

封じ込め及び浄化の方法及び
機材

： 速やかに回収する。
危険でなければ漏れを止める。
漏出物を密閉式の容器にできる限り集める。
広がらないように堰を作り、後で廃棄する。
残留液を乾燥した土、砂や不燃性材料で吸収させ、安全な場所に移す。
防爆型の【電気機器／換気装置／照明機器／機器】を使用すること。
全ての着火源(熱/火花/裸火/高温表面/静電気放電、等)を取り除く。
漏洩または漏出物を回収する場合は、専門家のアドバイスを求める。
回収作業は、安全取扱い（「7. 取扱い及び保管上の注意」参照）措置をしたうえで実施すること。
廃棄方法は「13. 廃棄上の注意」を参照。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

： 全ての着火源を取り除く。
静電気対策（アースやボンディング、帯電防止作業靴と作業服の着用、アースされた導電性床の採用、等）を講じる。
防爆型の【電気機器／換気装置／照明機器／機器】を使用すること。
ミストの発生を防止する。
屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
設備対策を行い、保護具を着用する（「8. ばく露防止及び保護措置」参照）。

局所排気，全体換気

： 局所排気および/または全体換気を行う。

安全取扱注意事項

： 混触危険物質（「10. 安定性及び反応性」参照）から離しておく。
吸入を避ける。

衛生対策

： 本製品を吸入してはならない。
取り扱い後は、顔、手、および露出した皮膚をすべてよく洗うこと。

保管

安全な保管条件

： 耐火設備を備えた場所に保管する。
保管場所には、必要な採光または照明および換気の設備を設ける。
静電気対策（アースやボンディング、帯電防止作業靴と作業服の着用、アースされた導電性床の採用、等）を講じる。
容器の静電気対策（アースやボンディングされた導電性床上での保管、等）を講じる。

改訂日：
2021/04/23

Spec ID：
900000052196

前回改訂日：2019/12/18
初回作成日：2015/03/25

直射日光を避ける。
冷所に保管。
容器を密閉して、換気の良い涼しい場所に保管すること（5℃～30℃）。
「10. 安定性及び反応性」を参照。

安全な容器包装材料： 適した材質：情報無し。
適さない材質：情報無し。

8. ばく露防止及び保護措置

作業環境における成分別ばく露限界/許容濃度

成分	CAS 番号	指標（ばく露形態）	管理濃度 / 許容濃度	出典
鉱油	非開示	OEL-M（ミスト）	3 mg/m ³	日本産業衛生学会（許容濃度）
		TWA（吸入濃度）	5 mg/m ³	ACGIH

設備対策： 局所排気装置および/または全体換気装置を使用する。
取扱場所に、手洗い設備、洗身洗眼設備を設ける。

保護具

呼吸用保護具： 呼吸用保護具は、リスクアセスメントを実施した上で適切と判断された、使用地域で定められた規格に合致するものを必ず使用する。
緊急時および漏出時の措置では、空気呼吸器あるいは循環式酸素呼吸器（SCBA）を着用する。

手の保護具： 手の保護具は、リスクアセスメントを実施した上で適切と判断された、使用地域で定められた規格に合致するものを必ず使用する。
不浸透性保護手袋

眼の保護具： 眼の保護具は、リスクアセスメントを実施した上で適切と判断された、使用地域で定められた規格に合致するものを必ず使用する。
安全ゴーグルまたは保護眼鏡と防災面

皮膚及び身体の保護具： 個人用保護具（PPE）は、リスクアセスメントを実施した上で適切と判断された、使用地域で定められた規格に合致するものを必ず使用する。
帽子、靴、合羽等を含む適切な不浸透性保護衣を着用する。

改訂日：
2021/04/23Spec ID：
900000052196前回改訂日：2019/12/18
初回作成日：2015/03/25

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	： 乳濁液
色	： 乳白色
臭い	： わずかな臭気
融点／凝固点	： データなし
沸点又は初留点及び沸騰範囲	： データなし
可燃性	： データなし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界 爆発範囲の上限 / 可燃上限 値	： データなし
爆発範囲の下限 / 可燃下限 値	： データなし
引火点	： 方法：タグ密閉式 データなし（試験中にサンプルから生じた不燃性蒸気によっ て試験炎が消炎した）
分解温度	： データなし
pH	： 4.0 - 7.0
蒸発速度	： データなし
自然発火温度	： データなし
粘度 動粘度（動粘性率）	： データなし
溶解度 水溶性	： データなし
溶媒に対する溶解性	： データなし
n-オクタノール／水分配係数 （log 値）	： データなし
蒸気圧	： データなし
密度及び／又は相対密度 比重	： 1.0 (25 °C)
密度	： データなし

改訂日：
2021/04/23

Spec ID：
900000052196

前回改訂日：2019/12/18
初回作成日：2015/03/25

相対ガス密度 : (空気=1.0) データなし

粒子特性
粒子サイズ : データなし

10. 安定性及び反応性

化学的安定性 : データなし

危険有害反応可能性 : ミストは、温度によらず空気と爆発性混合物を形成するおそれがある。
裸火
機械火花
電気火花
溶接火花
高温表面
加熱
摩擦熱
静電気放電
: 火災や爆発のおそれ
強酸化剤
強酸
強塩基
: 火災、爆発、および有毒ガスの発生のおそれ
次亜塩素酸塩類
過塩素酸塩類
: 熱的衝撃および/または機械的衝撃などで容易に分解する不安定物質を生成するおそれ

避けるべき条件 : 裸火
機械火花
電気火花
溶接火花
加熱
高温表面
静電気放電

混触危険物質 : 強酸化剤
強酸
強塩基
次亜塩素酸塩類
過塩素酸塩類

危険有害な分解生成物 : 一酸化炭素
二酸化炭素
炭化水素
すす
窒素酸化物

改訂日：
2021/04/23

Spec ID：
900000052196

前回改訂日：2019/12/18
初回作成日：2015/03/25

アンモニア
硫黄酸化物
無機成分を含む微粒子が発生するおそれがある。

11. 有害性情報

可能性のあるばく露経路の情報：
経口
吸入
経皮
眼

急性毒性

製品：

急性毒性（経口）：備考：データなし

急性毒性（吸入）：備考：データなし

急性毒性（経皮）：備考：データなし

皮膚腐食性／刺激性

製品：

備考：データなし

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

製品：

備考：データなし

呼吸器感作性又は皮膚感作性

製品：

試験タイプ：呼吸器感作性

備考：データなし

試験タイプ：皮膚感作性

備考：データなし

生殖細胞変異原性

製品：

in vitro での遺伝毒性：備考：データなし

in vivo での遺伝毒性：備考：データなし

改訂日：
2021/04/23

Spec ID：
900000052196

前回改訂日：2019/12/18
初回作成日：2015/03/25

発がん性

製品：

備考： データなし

生殖毒性

製品：

妊娠に対する影響： 備考： データなし

胎児の発育への影響： 備考： データなし

特定標的臓器毒性（単回ばく露）

急性毒性（「11. 有害性情報」）を参照

特定標的臓器毒性（反復ばく露）

製品：

備考： データなし

誤えん有害性

製品：

データなし

詳細情報

製品：

備考： 加熱時に生ずる蒸気・ヒュームは、気道を刺激することがある。

12. 環境影響情報

生態毒性

製品：

魚毒性： 備考： データなし

ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性： 備考： データなし

藻類／水生生物に対する毒性： 備考： データなし

魚毒性（慢性毒性）： 備考： データなし

ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性（慢性毒性）： 備考： データなし

改訂日：
2021/04/23

Spec ID：
900000052196

前回改訂日：2019/12/18
初回作成日：2015/03/25

残留性・分解性

生分解性 : 備考：データなし

生体蓄積性

生体蓄積性 : 備考：データなし

土壤中の移動性

データなし

オゾン層への有害性

オゾン層破壊係数 : 国際規制：UNEP - オゾン層を破壊する物質に関するモントリオール議定書のためのハンドブック
備考：リストに掲載なし

他の有害影響

データなし

13. 廃棄上の注意**廃棄方法**

内容物/容器を国および地方自治体（都道府県市町村）の規則に従って、適切に廃棄すること。

14. 輸送上の注意**国際規制****陸上輸送 (UNRTDG)**

危険物として規制されていない

航空輸送 (IATA-DGR)

危険物として規制されていない

海上輸送 (IMDG-Code)

危険物として規制されていない

MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質（該当・非該当）

供給された状態の製品には非該当

国内規制

国の特定の法規制は、項目 15 を参照する。

改訂日：
2021/04/23

Spec ID：
900000052196

前回改訂日：2019/12/18
初回作成日：2015/03/25

特別の安全対策

備考

： 輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。
転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確
実に行う。
車輛、船舶には保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を備える他、
緊急時の処理に必要な消火器、工具などを備えておく。

15. 適用法令**関連法規****消防法**

危険物、指定可燃物に該当しない。

労働安全衛生法**製造等が禁止される有害物**

非該当

製造の許可を受けるべき有害物

非該当

健康障害防止指針公表物質

非該当

変異原性の認められた化学物質（既存化学物質）

非該当

変異原性の認められた化学物質（新規届出化学物質）

非該当

名称等を通知すべき危険物及び有害物

法第 57 条の 2（施行令別表第 9）

化学名	番号
鉱油	168

名称等を表示すべき危険物及び有害物

非該当

特定化学物質障害予防規則

非該当

鉛中毒予防規則

非該当

四アルキル鉛中毒予防規則

非該当

有機溶剤中毒予防規則

非該当

労働安全衛生法施行令 - 別表第一（危険物）

非該当

改訂日：
2021/04/23

Spec ID：
900000052196

前回改訂日：2019/12/18
初回作成日：2015/03/25

毒物及び劇物取締法

非該当

化学物質排出把握管理促進法

非該当

高圧ガス保安法

非該当

火薬類取締法

非該当

船舶安全法

危険物として規制されていない

航空法

危険物として規制されていない

海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律

ばら積み輸送 : 供給された状態の製品には非該当

個品輸送 : 海洋汚染物質には該当しない

廃棄物の処理及び清掃に関する法律

産業廃棄物

16. その他の情報

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報にもとづき、当該製品の安全な取り扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄、漏洩時の処理等のために作成されたものですが、記載されている情報はいかなる保証をするものではなく、品質を特定するものでもありません。また、この SDS のデータはここで指定された物質についてのみのものであり、指定されていない工程での使用や、指定されていない材料と組み合わせた使用に関しては有効ではありません。